

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.63

地域経済フィールドスタディに参加して

大月短期大学経済科2年

庄司 拓哉 (茨城県行方市出身)

地域経済フィールドスタディでは、地元以外のまちづくりや産業を、実際に見て話を聞くというめったにない経験をする事ができ、3つのことを学びました。

1つ目は、地域特産品のブランド化への取り組みです。私は、風土密着型産業のグループとして、市田柿、シードル、飯田水引の事業者の方々からお話を聞きました。産官学連携がしっかりとなされていることを知ると同時に、地域に対する事業者の方々の誇りを感じることができました。

2つ目は、飯田市役所の職員の方々についてです。今まで自分が見てきた市の職員と比べて明るい印象を持ちました。そういった雰囲気も、住民とまちづくりを進めていく上で重要な要素となるのではないかと感じました。

3つ目は、風土密着型産業の難しさです。特産品のブランド化が与える影響について、域外だけでなく域内においても考えなくてはならず、意見をまとめる際に最も苦労した点でした。今まで考えたことがない点が多々あったので、新たな視点を見つける良い機会となりました。



大月短大・静岡文芸大・立命館大から参加したグループワーク